

# 令和6年度 デイサービスけやき 事業実績報告

## 目 次

- 1 職員体制
- 2 男女年齢及び介護区分別利用者状況
- 3 提供時間別利用者状況
- 4 介護度別利用者状況
- 5 月別1日平均利用者数
- 6 年間行事報告
- 7 研修・出張報告
- 8 評価と課題

## 1、職員体制

非常勤介護職員が6月と11月に1名ずつ加わり、非常勤調理員も1月後半から1名加わって、職員体制は年度内で3名増員で運営いたしました。職員の年齢は50歳代以上が6割以上を占めており、業務分担等を見直しながら、継続したサービス提供に努めています。

管理者	生活相談員	介護職員		看護職員		運転手	調理員	事務職員
常勤	常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	非常勤	非常勤	常勤
1名	2名	3名	7名	1名	1名	1名	3名	1名
相談員兼務	管理者兼務	常勤1名事務兼務		機能訓練兼務				介護職員兼務

## 2、男女年齢及び介護区分別利用者状況

性別	年齢	総合1	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	割合
男性	60代				1					1	1.2%
	70代				1			2		3	3.7%
	80代	1	1		5	8		3		18	22.0%
	90代				1		1			2	2.4%
	小計	1	1		8	8	1	5		24	29.3%
女性	60代		1							1	1.2%
	70代			1	3			2		6	7.3%
	80代	1	5	5	15	7	1	2	3	39	47.6%
	90代			1	5	2	2	2		12	14.6%
	小計	1	6	7	23	9	3	6	3	58	70.7%
合計	2(1)	7(4)	7(9)	31(28)	17(16)	4(8)	11(5)	3(3)	82(74)	100%	
割合	2.4%	8.5%	8.5%	37.8%	20.7%	4.9%	13.4%	3.7%	100%		

[ R7年3月, 単位：人, ( )内は前年度 ]

## 3、提供時間別利用者状況

令和5年度の延べ利用者人数の内訳は要介護5,707人、要支援等816人  
 令和6年度の延べ利用者人数の内訳は要介護6,210人、要支援等848人  
 前年度と比べ、要介護者の延べ利用者数は+503人(+8.8%)。要支援等は+32人(+3.9%)で、他事業所閉所に伴う利用変更等の影響が増加に転じたようです。

令和6年	延べ利用者数(人)										合計
	要介護者							要支援者等			
	8~9h	7~8h	6~7h	5~6h	4~5h	3~4h	2~3h	7~9h	5~7h	5h未	
4月	0	0	343	8	18	43	49	0	61	24	546
5月	0	1	358	14	13	71	50	0	52	25	584
6月	0	12	321	5	12	70	45	0	17	39	521
7月	0	0	360	2	14	69	57	0	45	23	570
8月	0	2	382	2	14	64	62	0	47	24	597
9月	0	0	433	3	11	43	59	0	53	23	625
10月	0	0	440	1	14	68	64	0	52	26	665
11月	0	1	416	0	12	65	62	0	41	15	612
12月	0	1	412	1	11	58	52	0	48	16	599
1月	0	1	359	2	12	64	48	0	49	19	554
2月	0	1	359	5	13	72	46	0	51	19	566
3月	0	0	389	5	12	83	51	0	59	20	619
合計	0	19	4572	48	156	770	645	0	575	273	7058

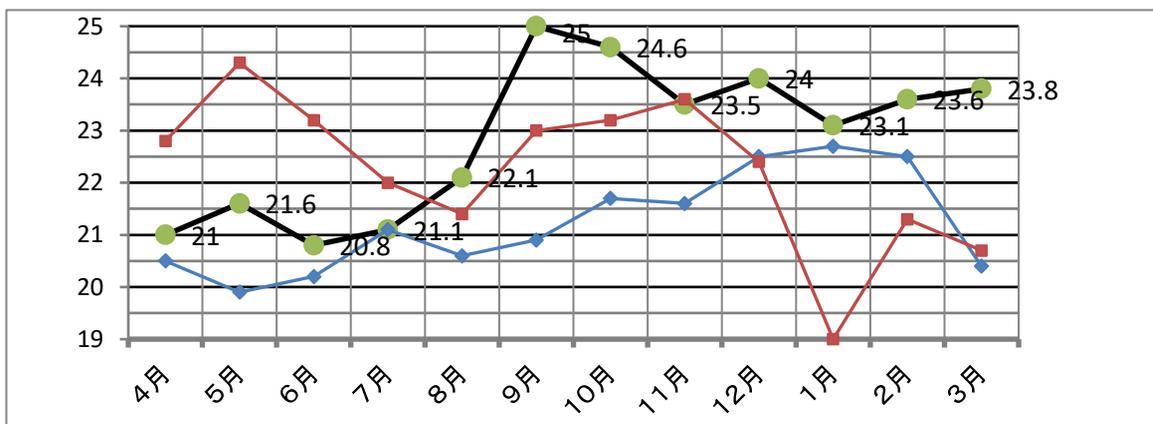
#### 4、介護度別月利用者状況

令和6年度は年間の稼働日数が309日（令和5年度308日）、年間の延べ利用者数は7,058人（令和5年度6,523人）、+535人の延べ利用者数の増加がありました。

内訳として、要支援（総合）の利用者は増減なく±0人でしたが、令和5年度より要介護1は+376人、要介護2は+618人、要介護3は-326人、要介護4は-96人、要介護5は-37人と、要介護1～3の方の変動が大きかったです。またそのレベルの方が利用者の8割を占めており、それ以上の介護度や認知症状の進行が見られる方は、施設等に入所する傾向が強いです。

R6年度		延べ利用者数(人)							
月	稼働日	要支援（総合）	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	暫定	合計
4月	26	85	194	148	68	41	10	0	546
5月	27	77	192	195	79	34	7	0	584
6月	25	56	177	189	66	16	17	0	521
7月	27	68	201	209	68	10	14	0	570
8月	27	71	202	230	67	14	13	0	597
9月	25	76	225	207	76	26	15	0	625
10月	27	78	263	211	73	29	11	0	665
11月	26	56	251	185	71	37	12	0	612
12月	25	64	232	182	64	44	13	0	599
1月	24	68	218	154	52	49	13	0	554
2月	24	70	215	170	39	52	20	0	566
3月	26	79	237	177	41	64	21	0	619
合計	309	848	2607	2257	764	416	166	0	7058
比率		12.0%	36.9%	32.0%	10.8%	5.9%	2.4%		100.0%

#### 5、月別1日平均利用者数



令和6年度は令和5年度と比べ、年間を通し新規利用者数は+18人の42人。終了者数は+7人の26人で年間を通じて11人の登録利用者の増加でした。

月別1日平均利用者数の変動も、他事業所の閉所に伴う利用変更の影響から、9月以降で高い値を維持しています。

新規	終了		6年度	5年度	4年度
1	2	4月	21	20.5	22.8
3	1	5月	21.6	19.9	24.3
3	1	6月	20.8	20.2	23.2
3	1	7月	21.1	21.1	22
2	1	8月	22.1	20.6	21.4
10	2	9月	25	20.9	23
3	4	10月	24.6	21.7	23.2
4	3	11月	23.5	21.6	23.6
2	5	12月	24	22.5	22.4
5	4	1月	23.1	22.7	19
2	2	2月	23.6	22.5	21.3
4	0	3月	23.8	20.4	20.7
42	26	月平均	22.8	21.2	22.2

(単位：人)

## 6、年間行事報告

令和6年度も感染症対策として外部からの慰問は中止し、職員余興等で行事を盛り上げながら実施しました。内容は2ヶ月に1回のペースで担当職員が計画し当日出勤職員で役割分担で行いました。予算額と決算額を比較すると、行事で購入した物品が少なく、今まで使用して保管していた物品でやりくりしながら実施した行事が多かったからだと思います。その物品も、長年の使用で破損してきた為処分する物も多く、次年度は新しく必要物品を買い替えながら、行事を楽しんでいただけるよう検討していきたいと思います。

実施月	行事	実施内容	予算額	決算額
4月				
5月 月～土	【けやき合唱 コンクール】 (6日間)		1,000円	550円 (シール メッセージ カード)
6月				
7月				
8月 28日 (水)	【けやき祭り】 (1日間)	五所川原甚句(踊り)やゲームを 行い、最後に職員扮装したねぶ た運行を行いました。 参加者：15人	5,000円	1,804円 (折り紙 色画用紙 色上質紙)
9月				
10月 11日 (金)	【体育祭】 (1日間)		3,000円	1,298円 (クロックス シューズ 2足)
11月				
12月 23日 (月)	【クリスマス会】 (1日間)	令和6年度から保育園児の慰問 から職員余興に変更しました。 クリスマス体操、ジングルベル 合唱、職員余興。 参加者：19人	10,000円	2,200円 (職員余興の 衣装作成 材料代等)
1月				
2月 3日 (月)	【節分(豆まき)】 (1日間)	年女の利用者2名の方に袴を着 用してもらい、代表して豆まき 終了後鬼と記念撮影。豆まきは 全員で豆まき用に新聞紙とガム テープで作成した物を使用。 参加者：19人	2,000円	0円 ※購入品なし
3月				
		合 計	21,000円	5,852円

## 7、研修・出張報告

令和6年度も研修自体はコロナ以前の会場研修とオンライン形式を併用したハイブリッド方式の研修で、時間や人員等の面でも参加のしやすい研修を選択できました。10のテーマ等の従来の定期的な研修は会場で行われ、グループワーク等必要な実施方法がとられ研修の充実度も上がりました。また今年度は県病主催の介護事業者向けの研修に参加し、ちがった角度で介護医療の知識を得る機会も持てました。

開催月/地	研修内容	参加者	決算額
7月5日 五所川原市	五所川原市介護事業者連絡協議会 第1回研修	川浪善嗣	参加費 0円
7月25日 五所川原市	青森県安全運転管理者等講習	川浪善嗣	
8月17日 オンライン	第1回 介護従事者研修会	粕谷 瞳	参加費 0円
8月	加算関連等の研修	川浪善嗣	参加なし
9月7日 オンライン	社会福祉法人運営の基本対策セミナー	石田幾子	参加費 0円
9月10日 オンライン	社会福祉施設看護職員研修会	一戸絵里子	参加費1,000円
9月27日 青森市	介護サービス情報の公表制度10のテーマAコース	乗田美保子	参加費4,500円 日当交通費3,980円
11月20日	経理研修	石田幾子	参加費1,000円
1月	脳トレ・レク活動研修	介護職員	参加なし
2月	認知症ケア関連研修	松田美由紀	参加なし
3月6日	地域の絆づくり講演会	石田幾子	参加費 0円
3月10日 オンライン	社会福祉法人による地域共生社会西北モデル事業報告会	石田幾子	参加費 0円
3月 オンライン	介護サービス事業者等に対する集団指導	川浪善嗣	参加費 0円
		合計	10,480円

## 8、評価と課題

令和6年度は介護報酬の改定があり、利用料金や加算の変更、特に7月から当事業所でも科学的介護情報システム(LIFE)を実施することにいたしました。また物価高騰の影響から、食事代やお試し利用料の変更も行いました。生協の食材提供の契約延長で経費の抑制も大きかったです。

感染面では新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症の影響も限定的になりましたが、感染症対策として手指消毒や換気、マスクの着用を継続し、アクリル板は撤去しました。

利用者の動向では、9月に他通所介護事業所の閉所から利用を当事業所に変更された方もあり、利用者数の増加につながりました。また冬季の利用者数の落ち込みも少なかったです。

職員は6月と11月に1名ずつパート介護員を増員、1月に入りパート厨房職員を1名増員しました。また今まで外部に委託していた清掃業務を次年度から職員で行うことにいたしました。

全体的に徐々にコロナ以前の状態に戻ってきていますが、利用者の高齢化と認知症状の進行が顕著で、より介助力が求められる場面が多くなってきています。職員の高齢化と施設の老朽化や使用物品の劣化もあるので、業務の見直しや物品等の修繕等、優先順位を考えながら検討していく必要があります。